

ふくしま YOUTH VOICE 2026 第2回目（双葉郡）実施結果

1 日 時

令和8年3月8日（日） 9時30分～16時00分

2 場 所

- ① フィールドワーク・ワークショップ（午前）
みんなの交流館 ならはCANVAS
- ② ランチョンレクチャー
とみおかワイナリー
- ③ フィールドワーク・ワークショップ（午後）
浅野燃糸 フタバスーパーゼロミル

3 参加者

高校生15名

4 概 要

- ① ならはCANVASの見学を通して檜葉町の復興や地域づくりについて学ぶとともに、檜葉町に移住し、一般社団法人ならはみらいの職員として地域で活動されている西崎芽衣さんのお話を伺った。
- ② とみおかワイナリーにて昼食をとりながら、従業員の方からとみおかワイナリー設立の経緯などについてお話を伺った。
- ③ 浅野燃糸フタバスーパーゼロミルの工場見学や従業員の方の講話を通して、双葉町で働くことへの想いを伺った。また、浪江町で「なみとも」代表として地域で活動されている小林奈保子さんのお話を伺った。

5 参加した高校生の意見や気づき等

- ・新聞などで見て、浜通りはもっと復興が進んでと思っていたが、実際今日自分の目で見て、思っていたより全然復興が進んでいなくて、戻れてない人も大勢いると知った。本当の状況をもっと知るためにはどうしたらいいか疑問に感じた。
- ・共通の思いを持っている若者たちが会話できる場を増やしてほしい。みんなが抱えるもやもやを共有して溜まらないようにできると、住みやすいまちづくりにつながると思った。
- ・普段の学校生活では、生徒の価値観や主張を学校や大人たちの価値観で否定されてしまって、私たちが行動に移すとか、声に出すということがしにくい環境なっているので、改善するためには、そのようなことを話しやすい環境づくりをしていくことが大事だと感じた。
- ・福島県で暮らしていくことを考えたときに、働き先としてどういう選択肢があるのか、自分になりたい職業に就いて、不自由なく生活していけるのかという不安を解消したい。そのようなことを知ることができる環境が欲しい。

